

特定非営利活動法人 ブックスタート
2020年度 事業活動報告

年間トピックス

コロナ禍のブックスタート ⇒P.3

- ・2021年2月下旬頃から、多くの自治体でブックスタートが実施できない状況に。
- ・緊急事態宣言解除後、集団健診は再開されていった。しかしブックスタートに関しては、健診会場の制限等で読みきかせができず、絵本のみ配付となる自治体が多い状況が続く。
- ・読みきかせが可能な自治体では、距離を保ち、感染対策を施して実施。



上左・下左：広島県尾道市、下中央：鳥取県鳥取市

上右：埼玉県三芳町、下右：大阪府泉南市

NPO ブックスタートの自治体サポート

- ・自治体が従来の形で事業を実施できず、ボランティアも活動を休止する状況をサポートすべく、情報提供と活用素材の提供を行った。

◇ニュースレター特集「コロナ禍のブックスタート」⇒P.5 ◇保護者向けレター案 ⇒P.4



◇動画「赤ちゃんといっしょにえほん Share books with your baby!」⇒P.4
保護者向けに、読みきかせ体験を補完する動画。YouTube で公開。



「2021～2023年度ブックスタート赤ちゃん絵本」が決定 ⇒P.7



(Bookstart Newsletter 2020 秋号より)

多言語対応資料の拡充 ⇒P.5



「絵本紹介シート」東京外国語大学と協働

講演会開催 中川ひろたかさん ⇒P.8



オンライン開催@童心社 KAMISHIBAI ホール

赤ちゃん絵本贈呈事業の全国調査を実施 ⇒P.9

約8割の自治体で、赤ちゃんに絵本を贈呈する事業を実施していることがわかった。

全国のブックスタート実施状況

年度	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
実施自治体数	36	319	575	650	571	598	635	685	705	752	806	834	866	902	946	986	1025	1038	1051
自治体数	3246	3235	3155	2544	1844	1827	1816	1800	1750	1750	1742	1742	1742	1741	1741	1741	1741	1741	1741
普及率	1%	10%	18%	26%	31%	33%	35%	38%	40%	43%	46%	48%	50%	52%	54%	57%	58.8%	59.6%	60.4%

2020年度
実施 1066
全自治体 1741
普及率 61.2%

2020 年度事業活動

1. 自治体への情報提供

1-① 市区町村からの問い合わせ・相談対応／資料提供／関係構築

- ・ 電話やメールでの問い合わせ・相談に対応。注文関連の連絡含め、数件～数十件／日。
- ・ 職員の勤務体制に対応するため、電話受付時間を短縮（11:00～16:00）。
- ・ 実施自治体には、ニュースレター、ハンドブック、当法人刊行の書籍、特別なニーズ（視覚障害、日本語以外が母語）のある対象者向け資料などを無償で提供。
- ・ 未実施や独自実施（NPO ブックスタートを通した非営利の仕組みを利用せずに活動を実施する）自治体に対しても、一部の無料資料を提供。



未実施・独自実施自治体向けに、NPO を通して事業を実施するメリットを伝える資料

コロナ対応 コロナ禍での実施に関する情報提供及びサポート

- ・ 2021 年 2 月下旬頃から、集団健診や母子保健事業が中止・延期または個別受診とする自治体が増加。事業を実施できなくなる自治体が 8 割程度あると推測された。
- ・ 緊急事態宣言解除後、集団健診は再開の動き。従来通り健診を継続していた自治体と再開した自治体を加え、全体の 8 割程度が集団健診を実施したと思われる。
- ・ しかし、絵本の読みきかせはそのうち 2 割程度と見込まれ、それ以外の自治体は、絵本の配付のみ（郵送含む）。
- ・ 集団健診が個別健診に移行した自治体は絵本の手渡しが難しくなり、図書館に取りに来てもらう、郵送などの対応。
- ・ どの自治体にとっても、コロナ禍は初めての経験であり、試行錯誤しながら対応策を講じていた。推進組織として、各地の事例をヒアリングし発信することに努めた。
- ・ 読みきかせをできず、やむを得ず絵本のみ渡すケースが増加したことに対し、事業を補完する素材として、動画（YouTube で公開）や保護者向けレター案を作成した。

◇ 動画「赤ちゃんといっしょにえほん Share books with your baby !」

各自治体でブックスタートの対象となる保護者向けに作成した動画。
本来の事業の形（読みきかせ体験と絵本をセットで贈呈）の紹介と家庭での share books の実際をイメージできるよう編集した。日本語以外が母語の保護者を想定し、やさしい日本語と英語の字幕を作成。



字幕：やさしい日本語（左）と英語（右）



◇ ブログ連載

自治体へのヒアリングなどで収集した事例を随時ウェブサイトブログで発信。

◇ 保護者向けレター案フォーマット提供

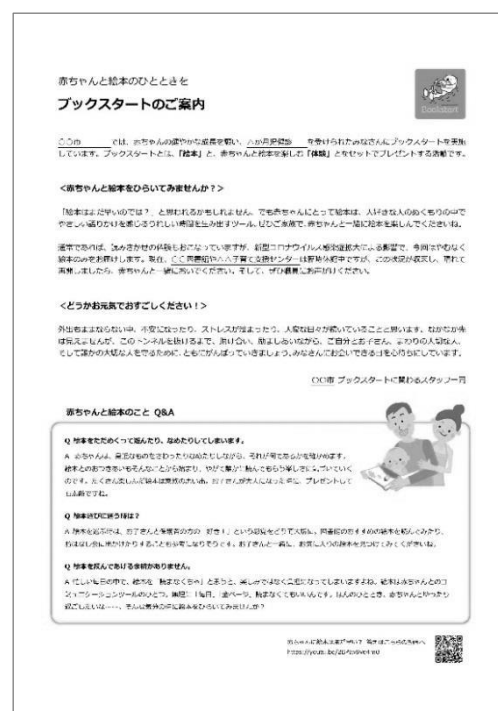
読みきかせができないことの補足資料として絵本に添えて配付する保護者向けレター案を作成し、自治体にフォーマットを提供。

<ブログ連載 タイトル>

現在 11 回。今後も更新予定

- 1 ブックスタート 各地の対応 ～東京都八丈町
- 2 わらべうた動画で親子のふれあいを応援
～埼玉県和光市
- 3 紙芝居動画で「ようこそ ブックスタート」
～福岡県宗像市
- 4 保健師さんからのメール～鳥取県鳥取市
- 5 市民とアイデアを出し合い、今できることを
～千葉県柏市
- 6 距離を保って読みきかせ～埼玉県三芳町
- 7 ボランティアさんから保護者へのメッセージ
～茨城県守谷市
- 8 保護者に希望を尋ねて読みきかせ
～広島県尾道市
- 9 パパと僕との「ぼん・ちん・ぱん！」
～静岡県伊東市
- 10 やってみよう！自治体と“つながる”
オンライン研修
- 11 赤ちゃんの反応を引き出す「コツ」紹介
～埼玉県三芳町

<保護者向けレター案>



1-② ニュースレターの発行

- ・ 年4回発行。ウェブサイトにてPDFを公開。
- ・ 実施自治体、都道府県、会員や出版関係者には、印刷物として郵送。



コロナ対応 コロナ禍での事例を紹介する特集（2021年1月発行）

特集『コロナ禍のブックスタート～4自治体の事例から～』
鳥取県鳥取市／埼玉県三芳町／大阪府泉南市／千葉県柏市

1-③ 自治体に関する情報収集／取材・見学

- ・ 実施自治体から、年に一度、実施状況を知らせてもらう。
- ・ 実施自治体以外の自治体も対象に、ブックスタートを含む絵本贈呈事業の実態把握のための調査を行った。※詳細は、5.調査研究に記載。
- ・ 例年と比べ訪問数が減ったため（2019年度は4件）、事例は電話とメールで収集した。
- ・ 取材見学訪問先（2件）
静岡県浜松市、東京都新宿区

1-④ 障害のある対象者への対応

- ・ 実施自治体向けサポートとして、視覚障害のある対象者向け資料の提供。
- ・ 関係各機関等と情報交換。
- ・ 自治体に提供する絵本が新たに選考されたため、新規タイトルについて、交換用てんやく絵本を準備。

*「障害」の表記について

これまで「障がい」と表記していましたが、「障害」の原因が「個人が持つ心身機能など＝個人モデル／医学モデル」ではなく、機能障害に対応できない「社会の側にある＝社会モデル」という「障害者権利条約」の考え方にに基づき、「障害」及び「障害のある」と表記することに変更しました。

1-⑤ 日本語以外を母語とする対象者への対応

- ・ 実施自治体向けサポートとして、対象者向け多言語対応資料を提供。ブックスタート紹介資料は11言語（中国語、韓国語、英語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、タイ語、ネパール語、ヒンディー語*、インドネシア語*）。アドバイスブックレット及び絵本紹介シートは、9言語（*印を除く）。
- ・ アドバイスブックレットの多言語対応版に、新たにネパール語を追加した。

- 「多言語対応絵本紹介シート」を東京外国語大学の協力を得て作成。ブックスタートで手渡す絵本は日本語だが、ぜひ母語でも楽しんでというメッセージを伝えている。外語大の助言をもとに、「やさしい日本語」を意識した文章にしたり、本文の日本語の音を各言語の表記で記載するなど改善した。



1-⑥ 都道府県・国への情報提供

- 図書館・教育委員会・子育て支援・母子保健の担当者へニュースレターを送付。

2. 研修事業

2-① ブックスタート研修会開催

- 当初、青森県での開催を予定していたが、中止した。
- 2021年度は、全国研修会としてオンライン開催。ブックスタートに関するプログラムのほか、母子保健分野での事業の重要性をアピールするため、三石知左子氏（東京かつしか赤十字母子医療センター院長）による講演を11月に予定している。

2-② 各地の研修会・講演会への職員派遣

- 自治体主催の研修会に職員を派遣。自治体が負担する費用は、通常、東京からの往復交通費（謝礼は不要）。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、依頼数が減少。年度途中から Zoom などを活用したオンラインでの実施を開始した。
- 訪問先 計5件（2019年度は47件）
北海道：恵庭市／東京都：中野区、練馬区／岐阜県：瑞浪市／愛知県：西尾市
- オンライン開催 計3件
山形県：酒田市／福島県：二本松市／大阪府：豊中市

3. パック提供事業

3-① ブックスタート・パックの流通

- ・自治体からの注文に基づき、絵本、アドバイスブックレット、布製バッグを販売。
- ・視覚に障がいのある対象者からの希望に応じて、てんやく絵本への交換対応（無料）。
- ・出生数減少傾向に伴い、各自治体の注文も減少傾向にある。

3-② 「2021～2023 年度 ブックスタート赤ちゃん絵本」の選考

- ・2020年6月に開催。コロナ禍のため、事前に選評の紙面共有を2回行うことにより、会議を1回開催（従来は2回）とした。
- ・新規出版社4社／再選3社／継続10社、計17社より快諾を得て、2021年3月から自治体への提供を開始した。

◇ 選考委員（敬称略・五十音順）

遠藤 利彦 乳幼児発達・東京大学大学院教授
児玉 ひろ美 読書アドバイザー・司書
中村 文 司書・福岡県公立図書館
三輪 丈太郎 子どもの本専門店「メルヘンハウス」
村田 晴恵 保育士・東京都公立保育園

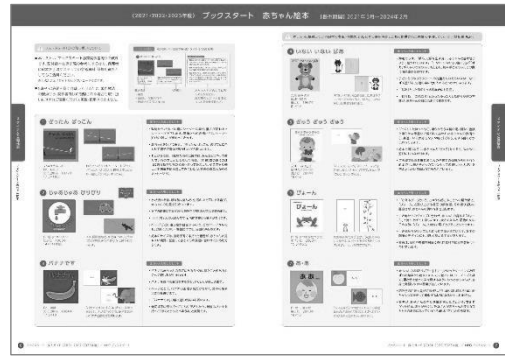


◇ タイトル（五十音順、*新規、※再選、無印は継続）

「あ・あ」 作・絵／三浦太郎 童心社
「あっ!」 文／中川ひろたか 絵／柳原良平 金の星社
「あっぱっぷ」* 文／中川ひろたか 絵／村上康成 ひかりのくに
「いない いない ばあ」 文／松谷みよ子 絵／瀬川康男 童心社
「いろいろなばあ」* 作／新井洋行 えほんの杜
「おつきさまこんばんは」 作／林明子 福音館書店
「おひさま あはは」 作・絵／前川かずお こぐま社
「おひさま さんさん おはようさん」* 作／なかじまかおり 岩崎書店
「かん かん かん」* 文／のむらさやか 制作／川本幸 写真／塩田正幸 福音館書店
「ぎったん ぱっこん」* 文／なかえよしを 絵／上野紀子 文化出版局
「ぎゅう ぎゅう ぎゅう」* 文／おーなり由子 絵／はたこうしろう 講談社
「くだもの」 作／平山和子 福音館書店
「ごぶごぶ ごぼごぼ」※ 作／駒形克己 福音館書店
「さわらせて」* 作／みやまつともみ アリス館
「じゃあじゃあ びりびり」 作・絵／まついのりこ 偕成社
「だっだぁー」 作／ナムーラミチヨ 主婦の友社
「どうぶつのおかあさん」 文／小森厚 絵／藪内正幸 福音館書店
「ととけっこう よがあげた」 案／こばやしえみこ 絵／ましませつこ こぐま社
「バナナです」※ 作／川端 誠 文化出版局
「はなび ドーン」* 作／カズコ G・ストーン 童心社
「びょーん」 作・絵／まつおかたつひで ポプラ社
「へっこ おっと たれた」 構成・文／こがようこ 絵／降矢なな 童心社
「ぺろ ぺろ ぺろ」※ 作／長 新太 BL 出版
「ぼんぼん ポコポコ」 作・絵／長谷川義史 金の星社
「まねっこおやこ」* 文／おくむらけんいち 絵／マッティ・ピックヤムサ ブロンズ新社
「まる まる」* 作／中辻悦子 福音館書店
「まる さんかく ぞう」* 作／及川賢治・竹内繭子 文溪堂
「まんまん ぱっ!」* 作／長野麻子 絵／長野ヒデ子 童心社
「みず ちゃぽん」※ 作／新井洋行 童心社
「よこむいて にこっ」* 作／高畠純 絵本館

3-③「2021-2023 年度 ブックスタート・バック購入ガイド」発行

- NPO ブックスタートを通した「非営利のしくみ」で提供する絵本やアイテムの購入に関する資料を発行。実施自治体及び過去に問い合わせのあった自治体へ無料提供。
- 絵本紹介ページでは、これまでは書影のみ掲載し説明していたが、各出版社の許諾を得て各タイトルの見開き画像も掲載し、詳しく説明できるようリニューアルした。



4. 広報活動

4-① ウェブサイト、SNS での情報発信／取材・問い合わせ対応

- 「ブックスタート 20 周年」をテーマにプレスリリースを配信。配信後、複数のメディアから取材を受け、番組や記事で紹介された。
メディア掲載：NHK「ラジオ深夜便 人生のみちしるべ」（2020 年 7 月 10 日放送）、NHK ラジオ国際放送「四海兄弟」（2020 年 10 月 24 日放送。再放送：国内ラジオ第 2 放送「中国語日本ジャーナル」2021 年 1 月 2 日）、「地域人」（2020 年 9 月）、「地域づくり」（2021 年 1 月）
- SNS（Facebook、Twitter、Instagram）での発信をより積極的に行った。
- これまでに関係のある方々を中心に、メールニュース配信を開始（2020 年 4 月～、年 4 回）。現在、送信先約 920 件。
- 一般の方や研究者などからの問い合わせに対応。大学での講義用にリーフレットの提供や、ウェブで公開した紹介ビデオの案内も。一般の方や研究者などからの問い合わせに対応。大学での講義用にリーフレットの提供や、ウェブで公開した紹介ビデオの案内も。

4-② 講演会開催

- 新型コロナウイルス感染拡大のため延期していた中川ひろたか氏（シンガーソング絵本ライター）の講演『こども・えほん・うたのこと』をオンラインにて開催。
- 北海道から九州まで、404 名申し込み。離島からの申し込みもあり、オンラインならでの参加者構成となった。
- 講演内容は、2021 年度に記録集として発行予定。
- 2021 年度は、村木厚子氏（元厚生労働事務次官）による講演会をオンラインで開催予定（2022 年 2 月 5 日）。



4-③ 刊行物発行

- 2020 年度の講演会を延期したため、新刊は発行しなかった。
 - 直接販売についてクレジットカード決済に対応するため、ネットショップサービスを活用し BASE にオンラインショップを開設。
 - これまで発行した出版物について、電子版にするための準備を行った。
- ※2021 年 6 月から一部書籍の電子版をネット書店にて販売開始。

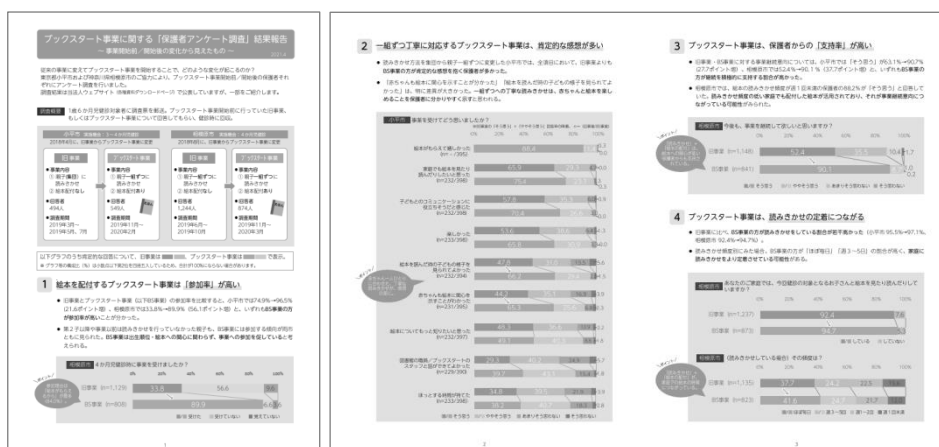
4-④ 海外団体とのネットワークづくり

- 世界 24 団体による「Global Network for Early Years Bookgifting」のコアメンバーとして、イギリスの BookTrust（ブックトラスト）及び 5 か国／地域（ドイツ、オランダ、ベルギー、カナダ、オーストラリア）の推進団体とのオンライン会議に参加。
- 2020 年 10 月に開催した第 1 回カンファレンス（オンライン開催）では、日本からもプレゼンテーションした。
- 毎回テーマを設定して開催する定例会議では、「障害のある対象者への対応」の回で、日本の活動事例を発表した。
- 日本の活動で大切にしている share books について共有できるように既刊の『「ブックスタートがもたらすもの」に関する研究レポート』を英訳。公開する準備をすすめている。 ※2021 年夏にウェブサイトにて公開予定。

5. 調査研究

5-① 保護者向けアンケート調査の実施

- 2018 年度に事業開始した自治体で、ブックスタートを受けた／受けていない保護者を対象に、2019 年度からアンケート調査を実施し調査票を回収していた。2020 年度は、その集計と分析を行い、報告書にまとめ、実施自治体に配付したほか、ウェブサイトで公表（2021 年 8 月予定）。
- 事業実施前後の変化を明確にし、事業の有効性を定量的に示すことで、自治体が予算を獲得するための材料として活用されることを期待。



5-② 赤ちゃん絵本贈呈事業の全国調査

- 赤ちゃんに絵本を贈呈する事業を実施している自治体を把握するため、2021 年 3 月に全国調査を行った。NPO ブックスタートが把握するブックスタート実施自治体以外の自治体に対しては、調査票を郵送して実施した。
- 約 8 割の自治体で、赤ちゃんに絵本を贈呈する事業を実施している実態を把握した。
- 2021 年 8 月にウェブサイトで公表予定。調査は毎年継続し、情報を更新する。

6. 組織運営

6-① 変化に対応可能な組織体制の構築

- グループウェアの導入。クラウド経理人事労務クラウドシステム導入にむけて準備。事務作業の効率化と働きやすさの実現を目指した。